

ゴシユユの木陰で羽を休めるムギマキのオス。27日午前、神戸市北区、同市立森林植物園



## 旅鳥 六甲で羽休め

神戸市北区の同市立森林植物園に、旅鳥のムギマキが飛来している。スズメほどの大きさで、胸の上部のオレンジ色が鮮やかだ。例年11月上旬ごろまで見られるという。

同園では数年前から飛来しており、この秋は今週初めに確認された。木に止まって羽を休めた後、ゴシユユの木の実をついばんだりして、愛鳥家らを楽しませている。

### ムギマキ飛来

ムギマキの観察を約20年続けている同会ひょうごの北野光良さん(51)は

ヒタキ科の野鳥。麦をまく頃に姿を見せるため、その名が付いた。「日ごの北野光良さん(51)は本野鳥の会ひょうご」に「めったに出合えない希少性と個体の美しさは必ず見」と話している。

渡りで南ルートとなる大陸に近いため、東日本(大森 武)